

令和6年3月11日

## 教育委員会からの提言

### 『災害に備えて、自分を守るための準備をしましょう』

島田市教育委員会 教育長 山中史章

この度の能登半島地震で亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げるとともに、負傷されたり避難されたりしていらっしゃる方々、被害にあわれた方々に心よりお見舞いを申し上げます。

今から13年前の平成23年3月11日、三陸沖の太平洋を震源とするマグニチュード9.0、最大震度7という東日本大震災が発生し、東北地方を中心に太平洋沿岸で、津波による大惨事が発生し、多くの方が亡くなられました。当時テレビでは、海から押し寄せてくる津波によって多くの家屋や自動車が流される映像が放映され、その様子は決して忘れることができません。

また、本年1月1日には、石川県の能登半島で、マグニチュード7.6最大震度7という大地震が発生し、多くの方が被害を受け、多くの方が亡くなられました。島田市からも現地の人たちのために、支援部隊を組んで被災地へ給水車やトイレカーを派遣しています。できるだけ早い復興をお祈りしております。

静岡県は、南海トラフ地震の震源域に入っています。いつ来るかわからない災害に備えて、今回、家庭で取り組んでほしいことを、下記のとおり提言いたします。

## 記

### ☆ 災害に備えて、自分を守るための準備をしましょう。

- 最低3日間の食料・水や携帯トイレの準備はできていますか。
- 非常用の持ち出し袋の準備はできていますか。
- 災害が起きたときに、家族がどこに集まったらよいのかを話し合っていますか。